

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	でらび〜		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 2 月 1 日		～ 令和 7 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 7 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【安心して預けることができる】 重心の医療的ケア児を預かっている実績がある。 専門職の数が多い。 生活介護と併設していて、施設内に職員が多数在籍している。	ケアについてご家族からしっかり伝達していただく。 何かいつもと違うことがあればすぐにご家族に連絡する。 (勝手に判断して、ケアを行わないで相談する) ケアの目的を明確にし、ご家族に報告する。 見通しをたてた支援内容をご家族に説明する。	現支援の徹底。 保護者との情報共有をしっかりとし、チームでの共有も確実に 行っていく。
2	【個別ケア、集団療育、両方受けられる】 給食のミキサー食対応(胃ろう、経口) 摂食訓練、リハビリ 医療機関、みはら園、富士特支、相談などと連携を積極的に行っている。 多職種で支援している。	各家庭と医師と連携をとれるように工夫している。 必要な場合には、情報ノート、動画を撮り保護者と共有、 病院との連携も随時行っている。	現支援の徹底。 保護者との情報共有をしっかりとし、チームでの共有も確実に 行っていく。
3	【行事や療育が充実している】 広見公園が近くにある。	「季節を感じる」「様々な経験すること」「成長発達に沿って療育を行うこと」を意識しチームで療育の方向性を話し合っている。	現支援の徹底。 その都度子供に合わせた支援を検討していく。 地域の最新情報をチェックし、取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育の時間が限られている。	医療的ケアのある方が多く、個別のケアが多い(吸引、姿勢管理、午睡など) 訓練や受診などで遅刻してくる利用者もいる。 保護者と情報共有するのに時間がかかる。	事前準備をしっかりとしておく。 週間予定など先の予定を立てておく。 家庭の状況などで必要な場合は家庭訪問する。
2	あまり外出ができない	医療的ケアのある方が多く、個別のケアが多い(吸引、姿勢管理、午睡など) 外出するためには人手が必要 訓練や受診などで遅刻してくる利用者もいる。 気候が穏やかな時でない、利用者さんに負担がかかる。	1日の利用のメンバーをグループに分け、出かけるグループと残るグループとに分ける。 週間予定など先の予定を立てておく。
3	個室対応が難しい。 (感染症疑うときなどの隔離)	障害特性として全体を見渡せるような施設のつくりになっているため	感染症を疑う場面では、面談で使用する和室なども利用して極力他利用者と離して、保護者の迎えを待つ。